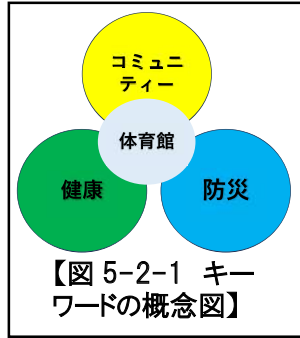


■ 体育館を健康、コミュニティー、防災の拠点に

- 当グループは旧久米島中学校体育館をリノベーションし、「コミュニティー」「健康」「防災」をキーワード[図5-2-1]に、新たなスポーツの拠点「アスレチックハブ」として地域住民が憩える場所、台風などの災害時の緊急避難所として再生します。



■ 屋根をふき替え、合宿も可能、健康増進にも

- 体育館天井の一部を膜屋根にふき替えます。太陽光の反射率が高く、内部の熱の増進を抑えると共に透光性にも優れています。
- 内部は体育館本来の機能を半分残しつつ、学生が合宿に使える宿泊スペース、住民や来島者が憩える喫茶スペース、住民の健康増進のためのクライミングウォールなどを設置します。現在、旧中学校にある「SMAP」の機能も維持します[図5-2-2]。
- 体育館に布団のような大型の洗濯物も洗えるコインランドリーを備えます。これは合宿を念頭に置くだけでなく、災害時の避難所の活用も想定しています。



【図 5-2-2 アスレチックハブの完成予想図】

■ 中学校は建て替えて住宅 30 世帯を確保

- 旧久米島中学校は解体撤去し、新たにRC造2階建ての住宅を中心とした居住棟を5棟、建てます。
- 戸数は単身者向けのワンルーム10室、少人数向けの2DK16室、ファミリー向けの3LDK4室とします[図5-2-3]。



【図 5-2-3 住宅棟、体育館、広場の配置】

■ 体育館を町外に誇れるスポーツ施設に

- 久米島町出身の二人のアスリートである譜久里武さん(一般社団法人アスリート工房代表)と元プロバスケットボール選手の山城吉超さんの協力を得て、子どもを対象として「体力づくり」や「エクササイズ」の教室をア

スレチックハブや周辺の広場で開催します。

- ボルダリングが可能な壁面を取り付けます。全日本クラスの競技者の使用にも耐えられる仕様になります[図5-2-4]。

■ 旧中学校とゴルフ場をつなぐ通りや広場を整備

- 県道89号久米島空港真泊線の儀間から旧久米島中学校門扉までの道は現在、旧中学校で行き止まりとなっています。この道を旧防波堤まで誰もが歩ける「うまんちゅ通り」として整備し、パークゴルフ場までつなげます。これにより旧中学校とパークゴルフ場の一体的な運用が可能です[図5-2-4]。
- 旧中学校の敷地(現・駐車場)を芝生敷きの「ゆいまーる広場」として整備し、アスレチックハブとパークゴルフ場をつなぐ機能を持たせます。



【図 5-2-4 住宅棟、体育館、広場の配計画】

■ パークゴルフ場にキャンプサイト機能を追加

- 久米島シーサイドパークゴルフ場は、従来の機能を維持し指定管理で運営します。
- アールコースの9ホールは、適度な起伏のある土地の形状が魅力的なので、ゴルフをしないときは、キャンプ場としても機能するように、クラブハウスに水場などを整備します[図5-2-5赤枠内]。
- 指定管理は町内事業者で、既に奥武島キャンプ場の指定管理に当たっている企業が、指定管理をする希望を持っており、当グループと話し合いをしています。
- クラブハウス2階には地元の飲食店を誘致します。



【図 5-2-5 パークゴルフ場改修計画。赤枠内の「アールコース」はキャンプ場を兼ねる仕様に】